

松江市 報道提供資料

令和 5年 9月 26日

件名 JCOMM賞の受賞について

内容

松江市交通局はこのほど、(一社)日本モビリティ・マネジメント会議(代表幹事:京都大学大学院 藤井聡教授。以下、JCOMM)から、本局の利用促進の取り組みを高く評価され、「JCOMMプロジェクト賞」を受賞しました。

(1) JCOMM 賞

- ・ JCOMM は、モビリティ・マネジメントの技術開発、普及支援を目的とし、様々な事業を行うため個人・団体により設立。毎年、大会(表彰、研究発表会)を開催
- ・ JCOMM では、全国の取り組み等の中から、特に先進的で優秀な個人・団体を表彰(プロジェクト賞については別紙参照)

(2) 今回の受賞内容

松江市交通局利用促進プロジェクト(主なものを抜粋)

- ・ 局長による訪問活動(企業・団体、行政 等)
- ・ 高齢者をターゲットにバス乗り方教室の集中開催
- ・ 3年ぶりのイベント、バスに乗ってみたいくなる企画(バスまつり、「休日の親子連れ」 「大半が市外出身の島根大学新入生」等)で公共交通イメージアップ
- ・ SNSを使った情報発信、既存広報物の工夫乗務員からの意見募集 など

(3) 選考理由 別紙参照

(4) 授賞式(終了)

日時 令和5年9月22日(金) 10:00~11:00

場所 栃木県宇都宮市 (第18回宇都宮大会)

注目点 松江市交通局単独での受賞は初めて (松江市としては、2010年福山大会で受賞)

【問い合わせ】 交通局 運輸企画課 担当:佐藤、安部 電話:0852-60-1112

令和5年度JCOMMプロジェクト賞を受賞！

JCOMMプロジェクト賞とは…

モビリティ・マネジメントの一連の取り組みの中で実施された「実務的な一プロジェクト」の中でも、とりわけ、都市・地域のモビリティの質的改善や渋滞、環境問題、公衆の健康増進問題や都市構造問題などの交通に関連する諸問題の緩和に実際に大きく貢献し、諸問題の抜本的緩和に繋がり得る新規性を持ち、かつ、その完成度・応用可能性や取り組み姿勢がすぐれたプロジェクトについて、個人(複数可)あるいは団体(複数可)を対象として授与する。

選定理由 —JCOMM実行委員会から—

交通局職員が一丸となり、また他の交通事業者とも一体となって、公共交通の利用促進に向けた多様な事業に取り組んできた姿勢は高く評価できます。特に、プロスポーツチームや大学との共創など地域社会と連携した取り組みは、他の地域の手本となることが期待できます。以上のことから、JCOMMプロジェクト賞に選定されました。



松江市交通局

松江市交通局 利用促進プロジェクト

■動機

- ✓ 新型コロナの影響で**利用者が激減。「今、動かないで、いつ動く？」**

■概要

- ✓ 公共交通の厳しい現状を伝えた上で

「バスの魅力発信と利用促進の働きかけ」

「他の交通事業者や地域社会との共創によるMM」を重点的に実施

■主な取り組み

- ✓ 局長による**トップセールス(企業・団体、行政、公民館)**
- ✓ 高齢者をターゲットに**バス乗り方教室の集中開催**
- ✓ 3年ぶりのイベント、**公共交通に乗ってみたいくなる企画**で公共交通イメージアップ
➡「バスまつり」、「休日の親子連れ」「大半が市外出身の島根大学新入生」「プロスポーツとの連携」等)
- ✓ **SNS**を使った情報発信、**既存広報物の工夫**

■効果

- ✓ 本局内での意見収集等を元に、他の**バス・鉄道事業者、地域団体との「共創」**により実施
- ✓ **共創により「街の取り組み」としての統一感**が生まれ、予想以上の効果が得られた

ReDESIGN

